

NEDO Challenge

Quantum Computing  "Solve Social Issues!"

成果物募集説明会 (更新版)

2026年1月16日

NEDO Challenge, Quantum Computing "Solve Social Issues !" 事務局

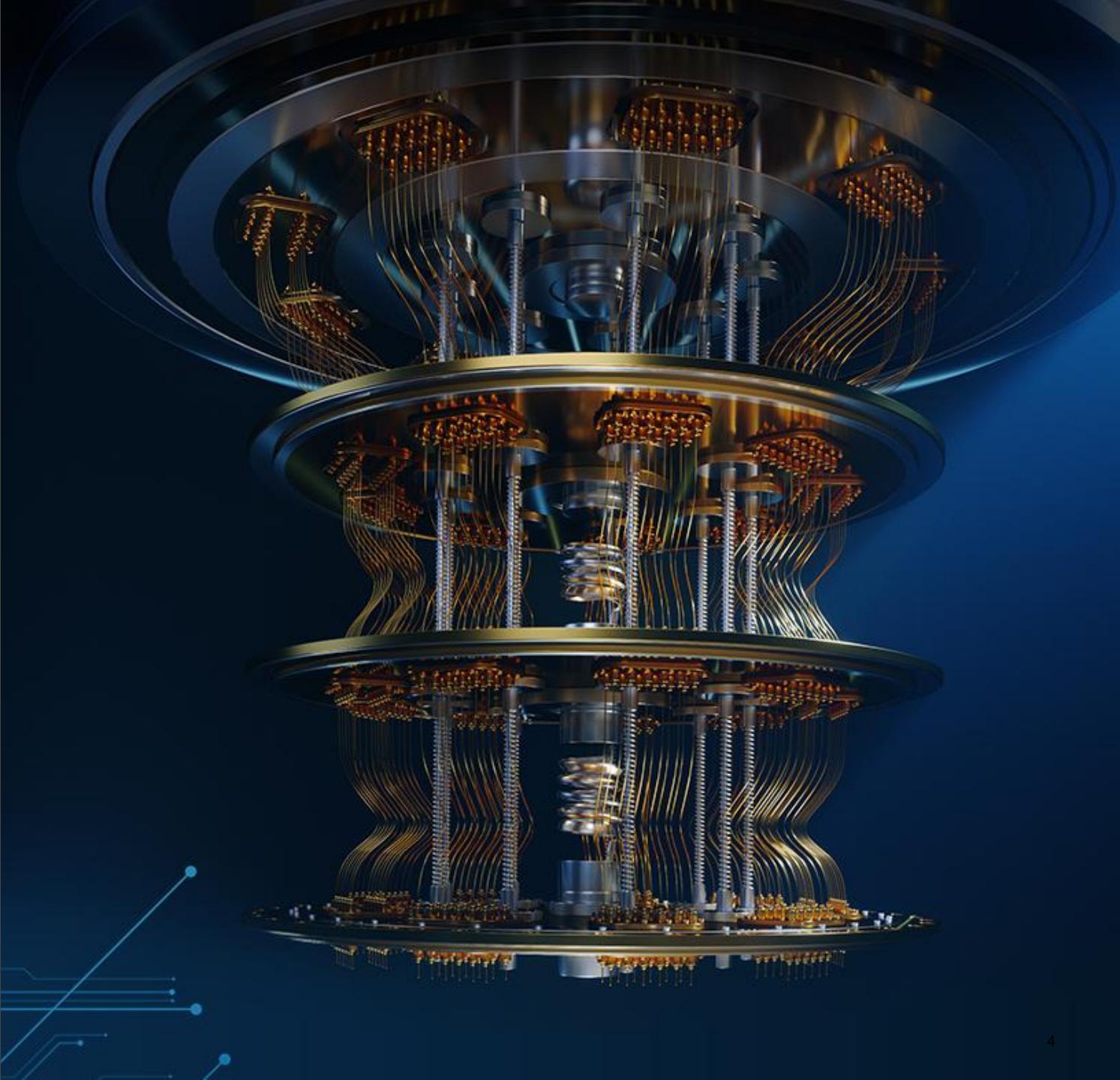
目次

- 本事業について
 - 懸賞金プログラムとは
 - 量子懸賞金事業とは
 - 成果物募集の位置づけ
- 成果物募集
 - 本説明会の位置づけ
 - 成果物募集応募者の資格
 - 成果物に対する目標水準
 - 懸賞金について
 - 注意事項について
- 本事業ビジョン
- 成果物募集提出物要項
- ご質問の受付

本事業について

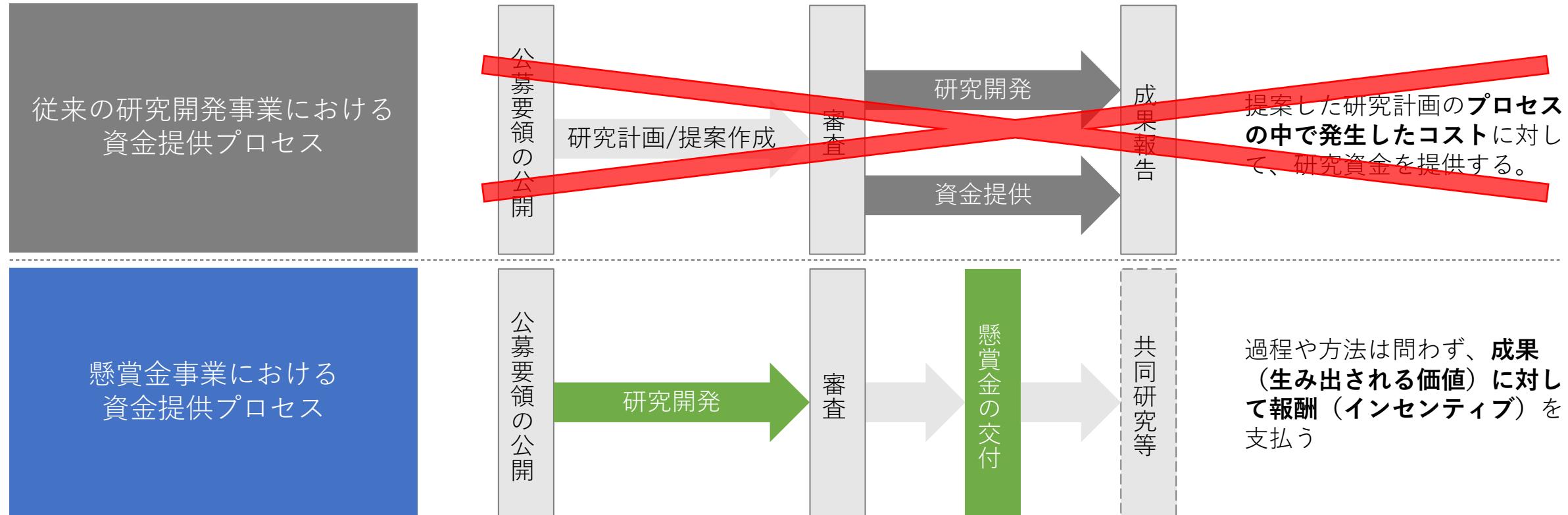
NEDO Challenge

Quantum Computing "Solve Social Issues!"



懸賞金プログラムとは

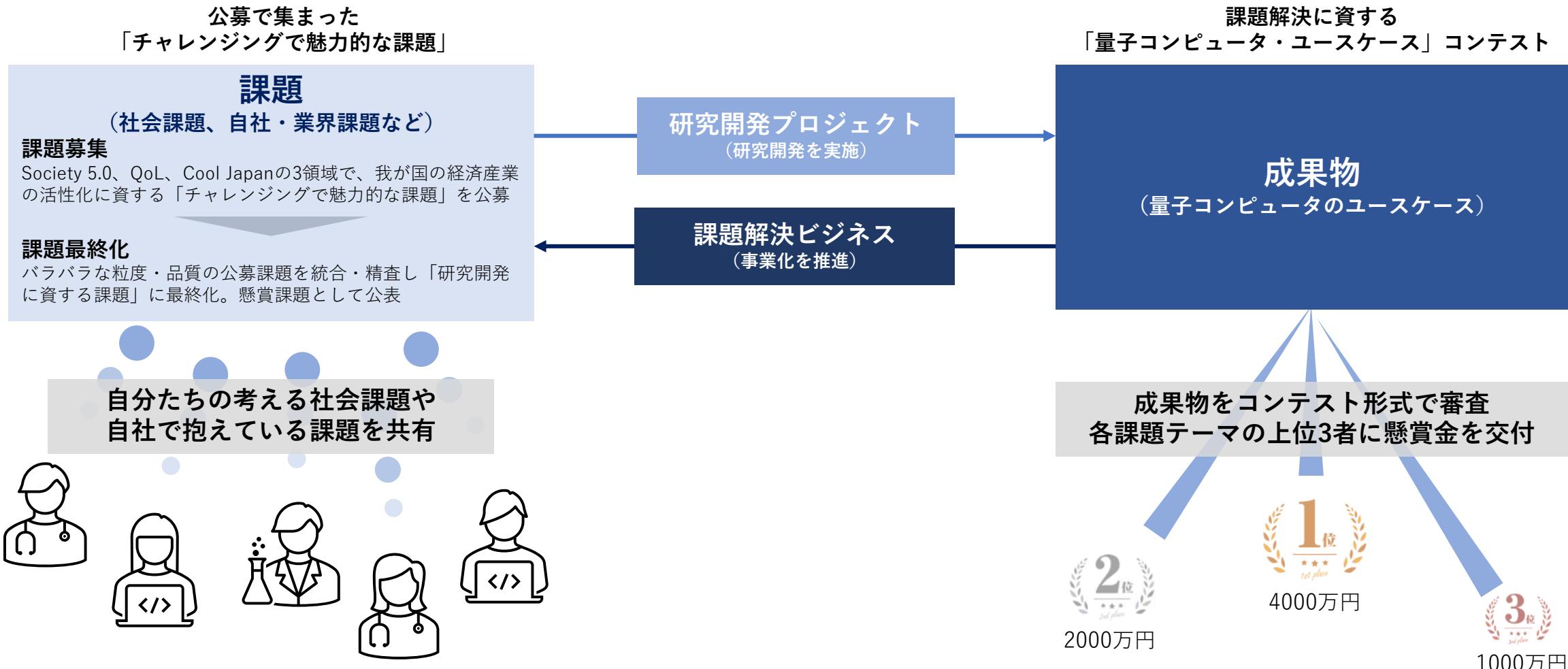
懸賞金事業は過程や方法は問わず、研究成果を評価し、懸賞金を支払う仕組みであり、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘し、共同研究等の機会創出、事業化の促進をねらう事業。



参加主体のモチベーションを向上させることにつながり、委託・補助と比べ、解決に向けたアプローチが定まっていないような課題への対応、課題解決に適した技術・アイディアを有する人材の発掘、企業に内在する技術を事業化のために洗練する機会として活用することが、有効であり、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘し、共同研究等の機会創出、事業化の促進をねらう。

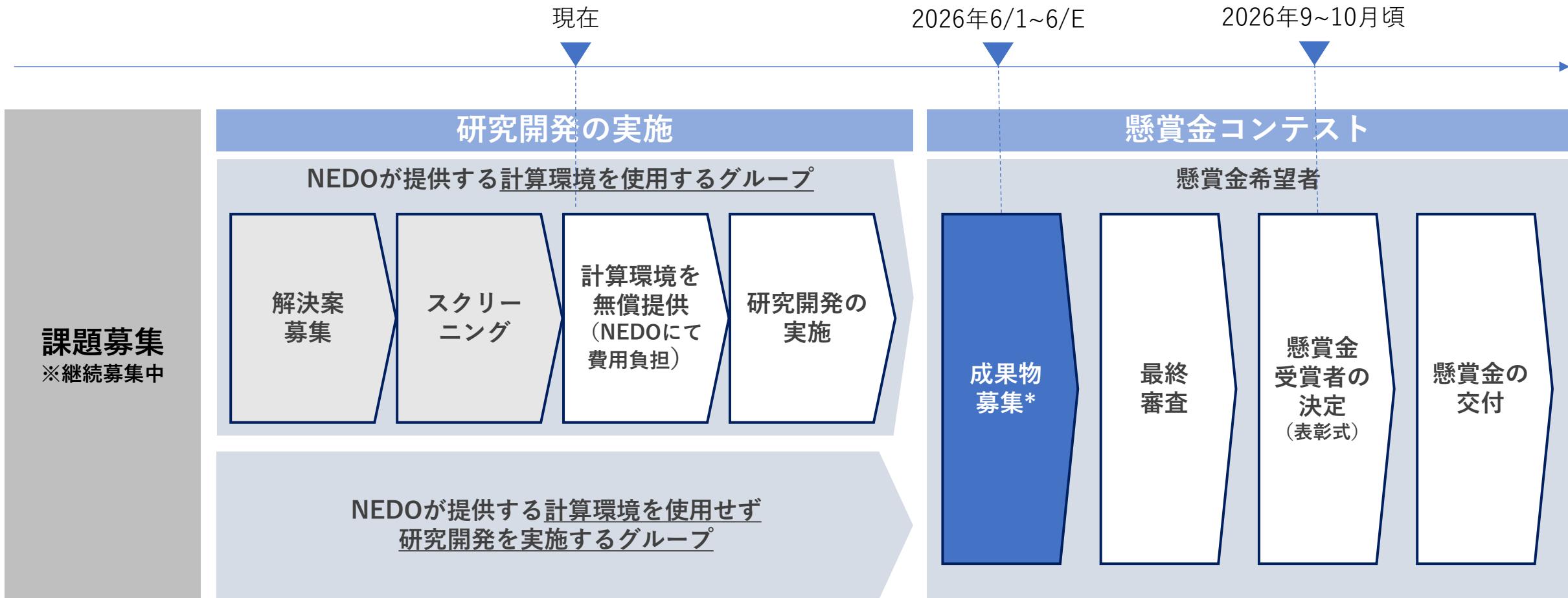
量子懸賞金事業とは

量子懸賞金事業では、社会課題や自社・業界課題の解決に資する優れた量子コンピュータのユースケースを成果物とする懸賞金コンテストを開催し、成果を通じて事業化を促進することで、将来の課題解決や新産業創出を目指している。



成果物募集の位置づけ

成果物募集は懸賞金希望者から懸賞課題の解決に資する研究開発成果を募集し、懸賞金受賞者を選定するプロセスであり、NEDOから提供する計算環境を使用した成果も自前の計算環境を使用した成果も応募可能。

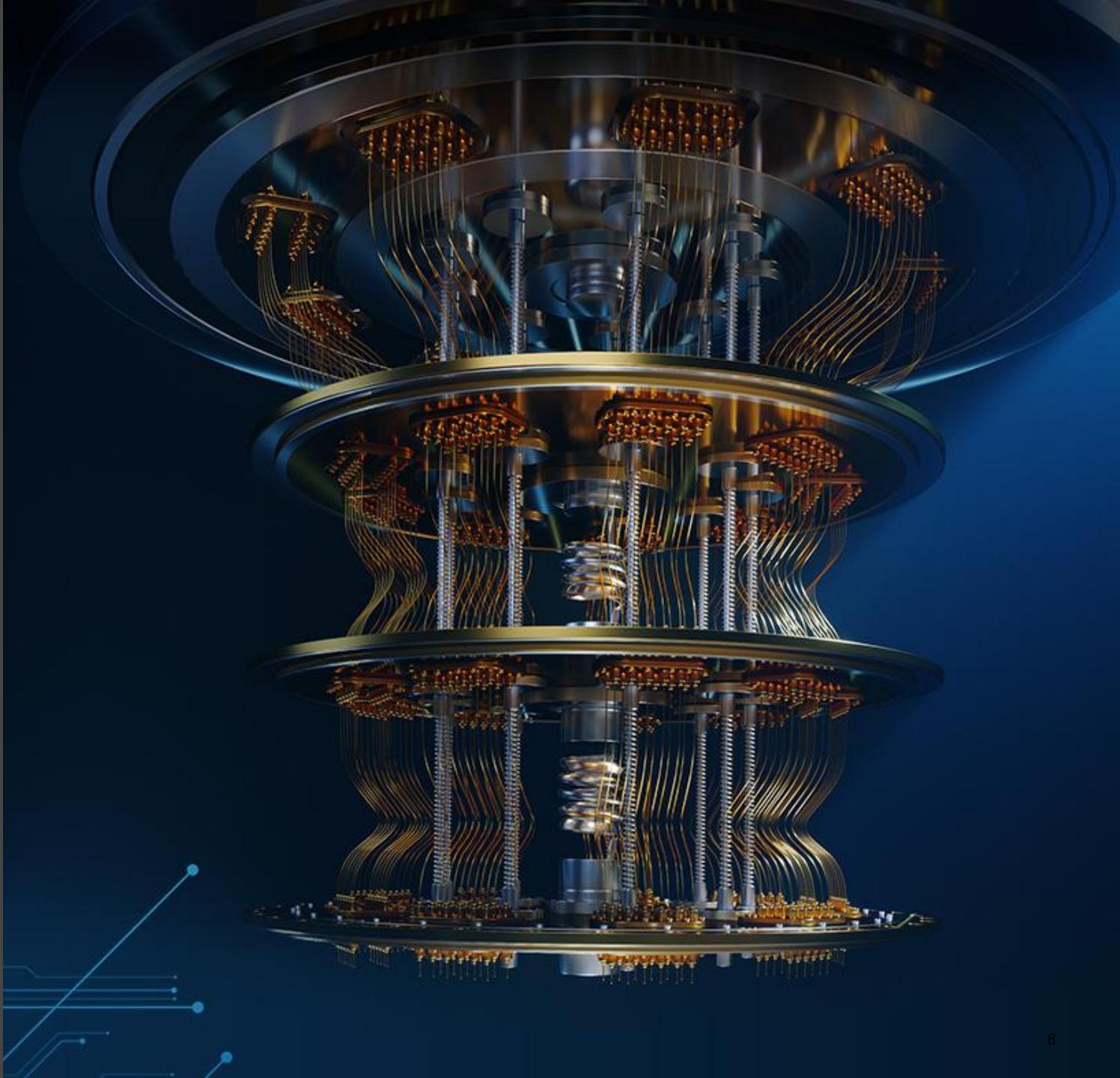


*成果物はあくまでも懸賞課題に対応した課題であることが必要であり、対応していないことにより受賞者とならない可能性がありますので、ご留意ください。なお、懸賞課題と研究内容が対応しているかについて、不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

成果物募集 について

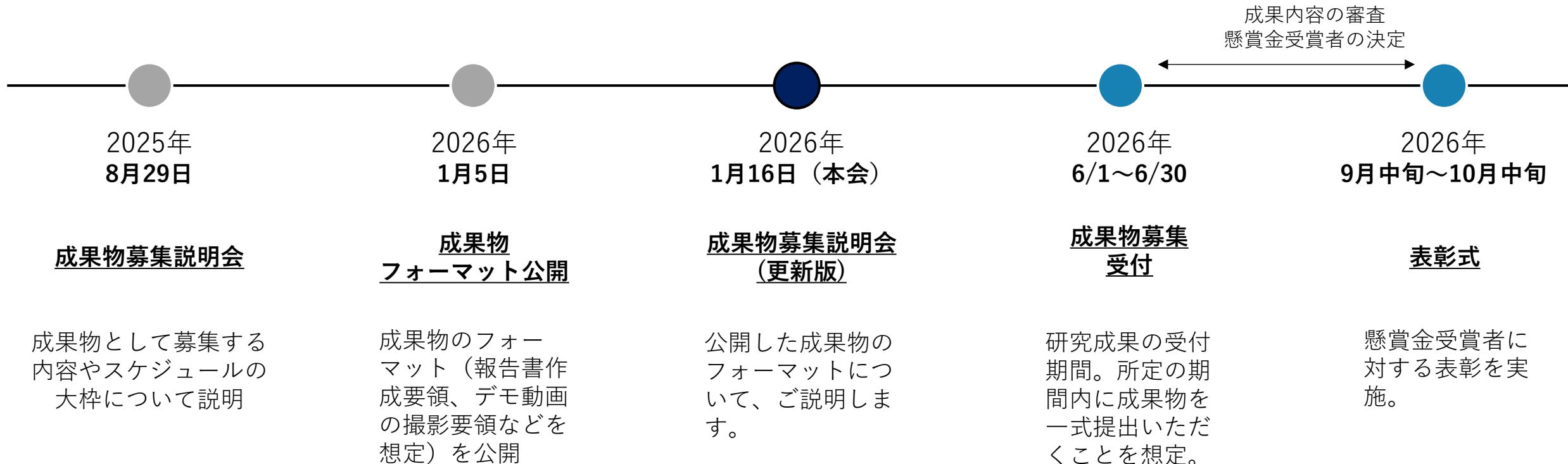
NEDO Challenge

Quantum Computing "Solve Social Issues!"



本説明会の位置づけ

本説明会では成果物募集における提出物の詳細なフォーマットについて説明させていただくものであり、成果物応募受付は2026年6月を予定。



成果物応募者の資格

応募者は、以下に示す①～⑦を満たすこと。

- ① 原則、**日本国に籍を有する者（法人、個人、グループ^①）が代表者として応募すること**とし、当該応募者が日本国内に本申請に係る主たる技術開発のための拠点を有していること。ただし、応募代表者が法人として応募する場合は代表法人が日本国内に本申請に係る主たる技術開発のための拠点を有している場合、応募することができることとする。また、応募代表者が所属法人と関係なく、**個人として応募する場合は、応募代表者が日本国に籍を有している場合、応募することができること**とし、**応募代表者が外国籍の場合、日本国内に居住していることに加え、日本の企業/大学等の団体に所属していることの証明または日本の企業/大学等からの推薦を必要とする。**
- ② 事業管理上、NEDO の必要とする措置を適切に遂行できること。
- ③ NEDO「懸賞金の交付等に関する規程」第5条（応募者の暴力団排除に関する誓約）の事項のいずれにも該当しないこと。
- ④ 企画運営事業者（PwC コンサルティング合同会社）と利害関係ないこと。
- ⑤ 成果物募集において、成果提出の締切日時までに成果を提出すること。
- ⑥ **提出する成果は「国の競争的研究費（内閣府の「競争的研究費制度」に該当するもの）」のみで作製されたものではないこと**
- ⑦ 「補助金交付等停止措置」に該当中の者ではないこと。「補助金交付等停止措置」の該当者は NEDO HP 内に掲載されている者とする。

※2025年4月に懸賞広告にて既に公表している内容から変更はございません。

成果物に対する目標水準

量子コンピュータ等により検証を行った成果を含むこと等を目標水準としており、目標水準を満したもののうち優れた成果を上げた者に各課題領域で上位3者に対して懸賞金を交付する。

目標水準

応募する成果物は、各課題テーマで下記の目標水準を満たす必要がある。

- ・ 提出された成果に一定の新規性が認められる。
- ・ 量子コンピュータ、アニーリングマシンもしくはシミュレータを利用することによる有用性を出せる可能性がある。
- ・ 提出された成果が課題解決に関連している。
- ・ 量子コンピュータ、アニーリングマシンもしくはシミュレータにより、検証を行った成果が含まれている。
- ・ 社会実装・実現に向けた将来計画が検討されている。

懸賞金について

懸賞金の額は、1位4,000万円、2位2,000万円、3位1,000万円とし、Society5.0, QoL, Cool Japanの各領域に交付するものとする。なお、上記のほか特別賞を授与する場合がある。

	Society5.0	QoL	Cool Japan
1位	4,000万円	4,000万円	4,000万円
2位	2,000万円	2,000万円	2,000万円
3位	1,000万円	1,000万円	1,000万円

- 受賞者決定後、受賞者からの請求書の提出をもって受賞者にNEDOが一括で支払う。
- グループ体制の場合、代表者が請求書において賞金を代表で一括受領する参加者一者（代表者自身でもかまわない）を指定し（海外口座の指定は不可）、NEDOは同者に同グループへの懸賞金全額を振り込む。
- 請求書の発行については、別途受賞者（応募の代表者）へ事務局から案内する。
- 受領後に必要な税務等の手続きについては、受賞者が適切に対応する。
- 成果提出締切日時までに成果の提出がなかった場合や審査の結果、目標水準に達する受賞者がいなかった場合には、「受賞者該当なし」となる。

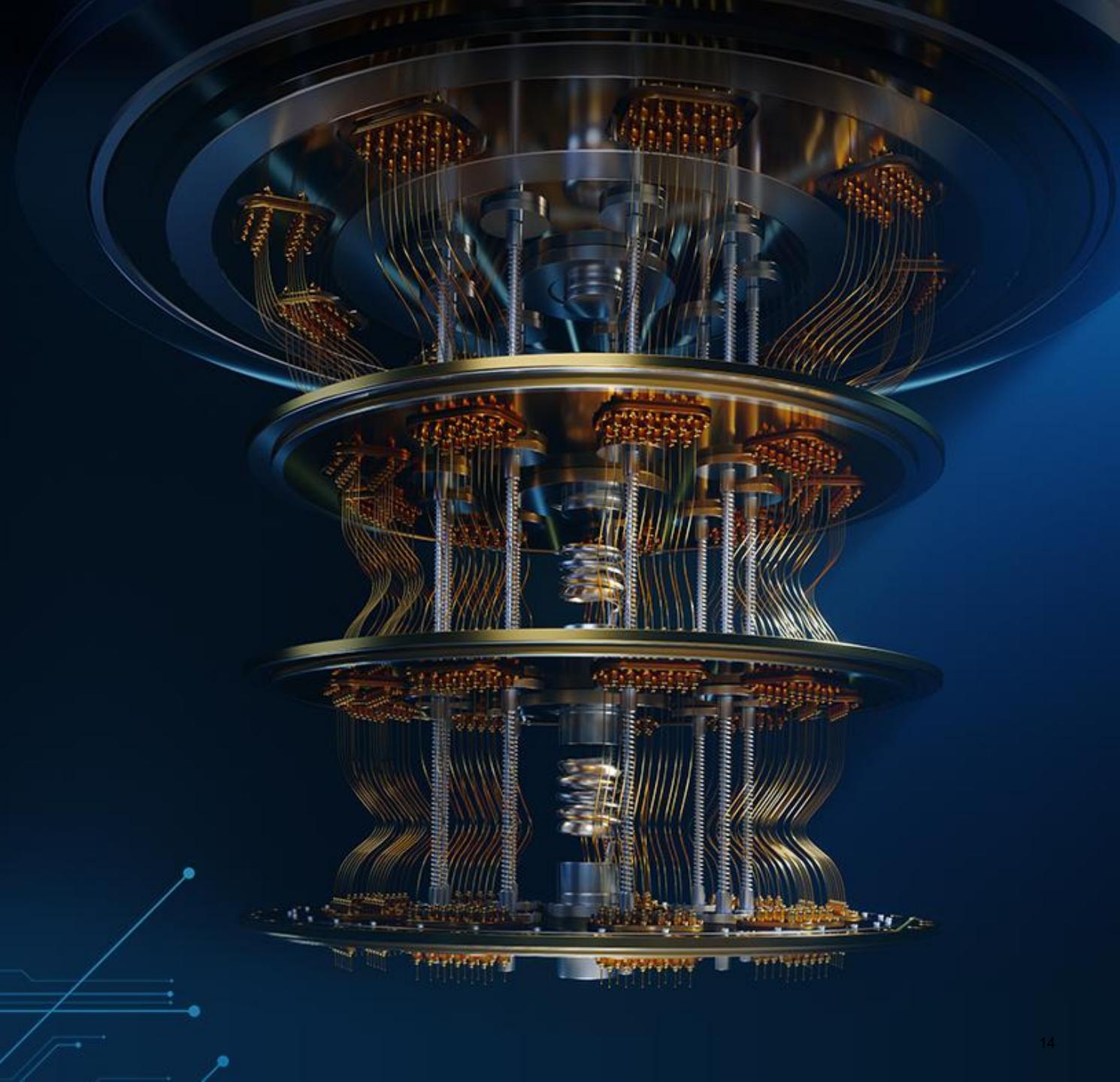
成果物募集に関する留意事項【懸賞広告記載内容の再掲】

- 受賞者に対しては、コンテストの結果（順位、懸賞金額、目標の達成度等）を通知し、NEDO のホームページにおいて受賞者、順位、目標の達成度等を公表する。公表する受賞者は受賞者の代表者とし、法人であれば法人名、個人であれば個人名を公表する。なお、公表において、ニックネーム等は不可とする。
- コンテスト終了後を含む委託事業者によるアンケート（懸賞広告への応募に係る内容等）及び NEDO が実施するアンケート（共同研究等実施状況確認等）に回答すること。
- 応募者は、本懸賞広告の記載内容の全てを承諾したものとみなす。
- 提出書類の中に秘密事項がある場合には当該部分にその旨を明記すること。
- 本懸賞広告への応募に係る提出書類に記載された情報のうち秘密事項以外については、事務局が広報 PR のために、雑誌、書籍、ウェブサイト、メールマガジン等の各媒体で発表又は利用する場合があることにつきご了承いただきたい。これに伴い、応募者が記載した情報の一部を要約・翻訳等の変更を行うことがある。
- 未成年者が応募する場合は、応募時に保護者の承諾書が必要となる。
- 提出された成果に関する著作権その他の知的財産権は原則として、応募者に帰属する。提出する成果は、第三者の著作権その他知的財産権を侵害していないものに限る。万一、応募者が第三者の権利を侵害している場合又は侵害する恐れがあると事務局が判断した場合（応募後に侵害となった場合を含む）、受賞発表後でも受賞を取り消すことがある。
- 提出書類により事務局が取得した個人情報については、以下の目的以外に利用することはない（ただし、法令等により提供を求められた場合を除く）。
 - 成果の審査・選考・事業管理
 - コンテスト後の事務連絡、資料送付、共同研究創出支援の実施等
 - 申請情報を統計的に集計・分析し、申請者を識別・特定できない形態に加工した統計データ作成
- 事務局では、本事業の説明会ならびにコンテストの運営支援を外注し、運営支援を目的とした業務に利用するため個人情報を外注先に提供する可能性がある。
- 提出書類については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 11 年 5 月 14 日法律第 42 号）に基づき、不開示情報（個人情報及び法人等又は個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるもの等）を除いて、情報公開の対象となる。なお、開示請求があった場合は、不開示とする情報の範囲について NEDO との調整を経て決定することとする。
- 成果物募集に関しては詳細が決定次第、本事業専用サイトにて公表する。
- 本懸賞広告内容に変更がある場合は、NEDO ウェブサイトへの掲載により広告を行う。

本事業ビジョン

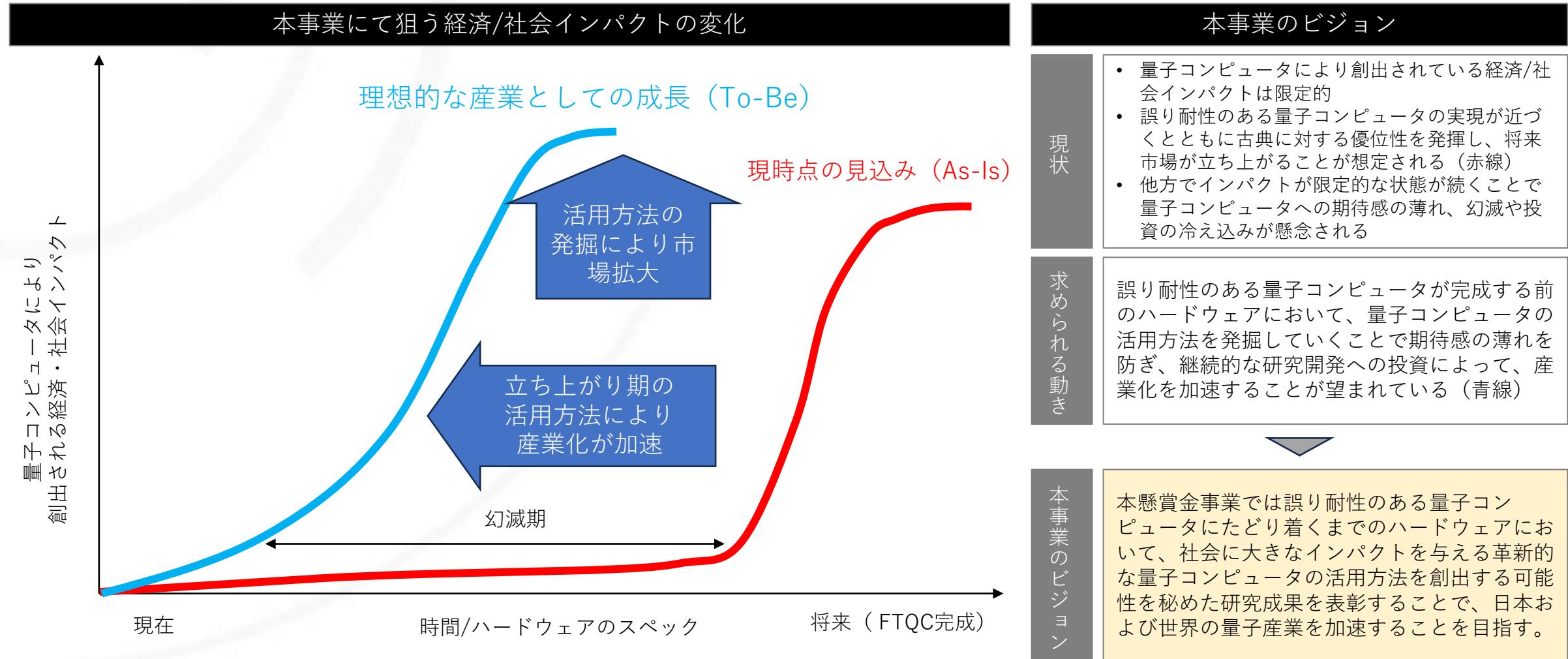
NEDO Challenge

Quantum Computing "Solve Social Issues!"



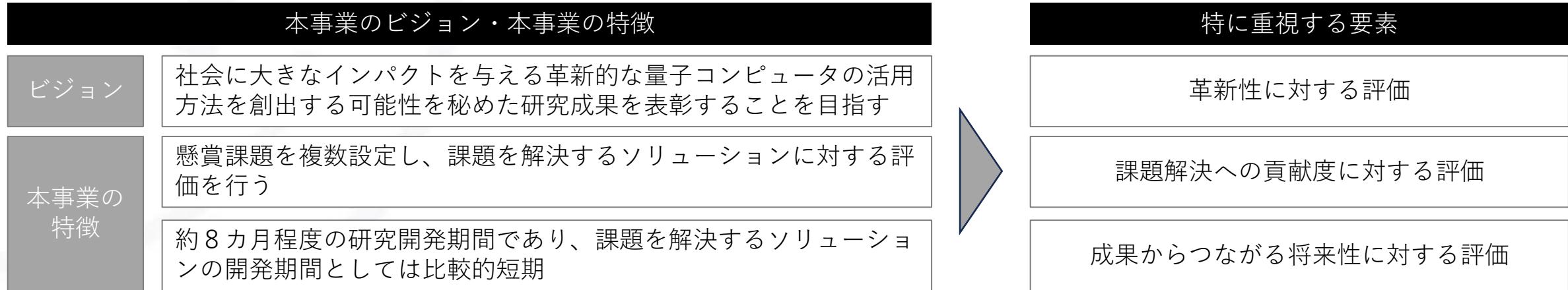
本懸賞金事業における目指す姿/ビジョン

FTQCにたどり着くまでのハードウェアにおいて、社会に大きなインパクトを与える革新的な量子コンピュータの活用方法を創出する可能性を秘めた研究成果を表彰することで、日本および世界の量子産業を加速することを目指す。



高く評価したい研究成果の具体イメージ

本事業にて目指すビジョンや本事業の特徴を踏まえ、革新性・課題解決への貢献度・将来性を重視した評価を行うことを想定している。



高く評価したい研究成果の具体イメージ*

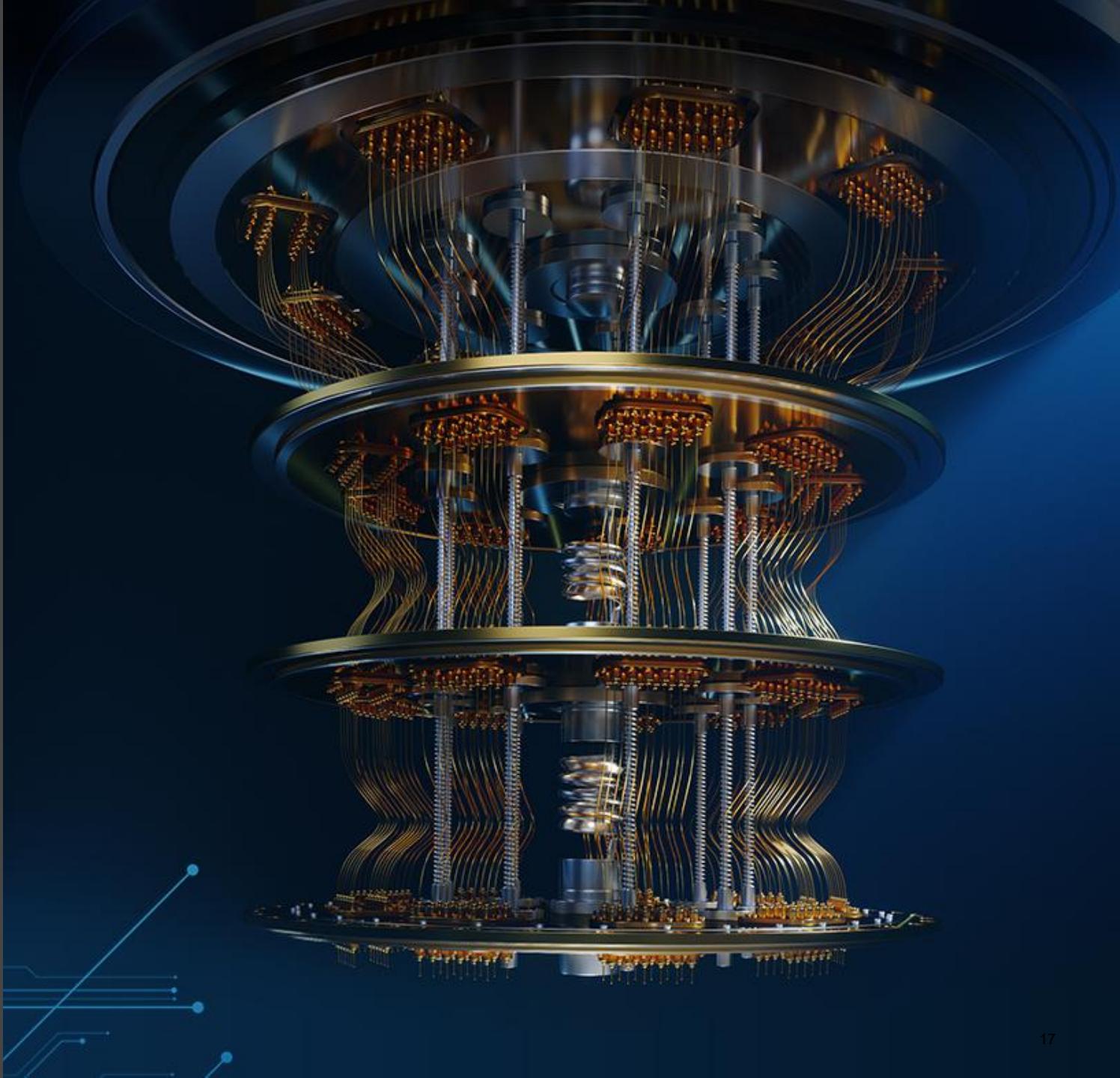
- 今までになかった、量子有用性を創出するような問題構造を発見し、定式化し、それにより課題解決への道筋をつけたもの
- 量子コンピュータの活用方法および波及する技術的な広がりによって、大きな経済効果が見込まれるもの
- 近い将来(2030-2040年ごろ)までのハードウェアにおいて、古典では困難かつ根本的な課題の解決に大きく貢献したもの
- 研究成果によって、課題解決までの期間を大きく短縮するような発見・成果
- 妥当な検証が行われており、再現性があることが期待できるもの
- 従来型の研究開発の改善ではなく、根本的な技術上のボトルネックを解消する可能性を秘めたもの
- その後に続く研究開発によって、当該課題だけではない課題解決にも貢献が期待できるもの
- 比較対象となる既存のソリューション・計算手法によるベンチマークがある場合
 - アニーリングの場合は既存の最適化ソルバーに対するベンチマークによって、優位性が示されるもの
 - ゲート式（Early FTQC、FTQC）の場合は将来の量子コンピュータを想定したベンチマークによって、既存手法に対して、優位性が示されるもの
 - ゲート式（NISQ）の場合は既存手法におけるベンチマークと比較して、優位性が示されるもの。特に実機を使ったデモンストレーションを示したもの
- 比較対象となる既存のソリューション・計算手法によるベンチマークがない場合は実データとの比較や実験的な手法による優位性の確認手法に関する道筋が示されているもの

* 具体イメージに記載したものは本事業として目指す研究成果を示すものであり、全てを満たす必要はありません。

成果物募集 提出物要項

NEDO Challenge

Quantum Computing "Solve Social Issues!"



成果物募集における提出物

成果報告書、成果報告書（概要版）は応募者全員提出いただき、デモ動画は希望者のみ提出いただき、テンプレートの内容およびファイル形式に従って作成・提出いただくようお願いいたします。

提出物	対象者	提出時期	概要	注意事項
成果報告書	応募者全員	2026年6月1日～30日	研究開発成果の内容を整理した報告書	<ul style="list-style-type: none">配布する成果報告書テンプレートの章立ておよびガイドに従って、記載すること。ページ数：70ページ以下書式：A4縦/横書き提出ファイル形式：PDFファイルサイズ：10MB以下提案者名・提案企業名・企業ロゴは記載しないこと
成果報告書（概要版）	応募者全員	2026年6月1日～30日	研究開発成果の概要を整理した報告書	<ul style="list-style-type: none">配布する成果報告書（概要版）テンプレートの章立て及びガイドに従って、記載することイラストなどを用いて視覚的に理解しやすい表現とすることページ数：スライド10枚まで（事務局が指定する7枚+自由記述3枚）書式：A4横/横書き提出ファイル形式：PDFフォントサイズ：10pt以上ファイルサイズ：10MB以下提案者名・提案企業名・企業ロゴは記載しないこと
デモ動画（システム説明資料）	応募者のうち提出を希望する方	2026年6月1日～30日	開発した研究成果（システム：アルゴリズム、アプリケーション）が正常に動作している状況が分かるデモ動画および研究内容の説明動画	<ul style="list-style-type: none">時間：最大5分提出ファイル形式：MP4ファイルサイズ：原則500MB以下提出方法：ダウンロードURLを事務局へ提出提案者名・提案企業名・企業ロゴは記載しないこと
プレゼン資料	提出書類による審査結果でヒアリング審査が必要となつた方	ヒアリング審査の前日まで	成果報告書、デモ動画の内容を中心に、審査委員に成果の内容を説明するためのプレゼン資料	<ul style="list-style-type: none">発表資料は成果報告書（概要版）を使用することを想定していますが、応募者の希望により一部追加いただくことも可能です。ヒアリング審査が必要な場合は成果報告書等の提出後に事務局から連絡いたします。ヒアリング審査では、成果報告書、デモ動画で確認できなかった細かな点を、本資料を通じて審査員とコミュニケーションしていただくことを想定しています。Appendixについては枚数無制限

成果報告書 記載項目 (1/2)

課題・解決案・結果・考察、要約およびまとめの項目について、記載をお願いいたします。

成果報告書 記載項目	記載内容
要約	全体説明 (1000文字以内) *
課題の内容・研究の目的	N/A
課題の背景	本研究の意義・重要性を把握するうえで必要となる課題の背景
課題の内容	解くべき課題の内容や量子計算により解く内容
古典コンピュータでの現状の認識	古典コンピュータで解決できないエビデンスなど
研究の目的	研究を通じて目指す内容・方向性・状態・ゴール
解決案の内容	N/A
先行研究	(先行研究がある場合) 課題・量子技術での先行研究の内容
研究開発した技術・アルゴリズム	研究開発した技術・アルゴリズム・量子回路の特徴、工夫ポイントなど
使用ツール・システム・データ	使用するハードウェア、ソフトウェア、アルゴリズム、システム構成、データ等
作成したソフトウェア	作成したソフトウェア・プログラム
評価方法	開発したソフトウェア・プログラムを評価する手法やフローなど。 (既存のベンチマークがある場合はベンチマーク)
研究結果	N/A
結果	ハードウェア使用した結果。既存のベンチマークがある場合は古典の結果に対する結果を記載。既存のベンチマークがないものについては何が生まれたのか、どんな価値が見出されたのか。

* 課題の概要、解決策の概要、成果の概要、量子有用性の創出、成果の課題への解決貢献度、ゴール/手法/成果の新規性・独自性、成果により期待される経済・社会的なインパクト、成果の関連する課題への展開などを含めた内容を1000文字以内で記載いただく想定

成果報告書 記載項目 (2/2)

課題・解決案・結果・考察、要約およびまとめの項目について、記載をお願いいたします。

成果報告書 記載項目	記載内容
考察	N/A
成果に対する考察	課題の背景や研究の目的に対して、どのように役立つといえる結果を示したと解釈したのか
今後解決すべき課題	今後社会実装までにどのような課題を解決する必要があるか、また実現性を検証するアプローチとして、必要となる検証
成果を踏まえた今後のビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の技術的進歩の仮説 ・本成果が課題解決へ寄与するプロセス・ビジョン
社会実装に向けたロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップ（タイムラインとアクションとマイルストーン）
まとめ	N/A
量子有用性の創出	量子有用性を創出しているポイントもしくは将来的に量子有用性を創出すると期待されるポイントや根拠
成果の課題への解決貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に対して、本成果のどれだけ貢献したか（課題の困難さ、得られた成果と課題解決の関係性など）
ゴール設定/手法/成果の新規性・独自性	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール設定/手法/成果の新規性・独自性のポイント ・新規性・独自性の課題解決・社会実装期間の短縮・市場拡大との関係性
成果により期待される経済・社会的なインパクト	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的インパクト（定性的に誰の何がなぜどう変わるのか） ・経済的インパクト（定性的に誰の何がなぜどう変わるのか） <p>※定量的な指標が示せる場合は根拠とともに記載（2030年,2040年,2050年時点における記載を想定）</p>
成果の他課題/他領域への展開・適用可能性	対象課題以外への展開可能性

成果報告書（概要版）記載項目

成果報告書全体を短くまとめたスライドの作成をお願いいたします。

成果報告書（概要版）記載項目	記載内容
表紙	代表者氏名、団体名、選択課題、提案名を記載
課題の背景と内容、研究の目的	本研究の意義・重要性を把握するうえで必要となる課題の背景および研究を通じて目指す内容・方向性・状態・ゴール
解決案の内容－開発した技術	研究開発した技術・アルゴリズム・量子回路の特徴、工夫ポイントおよび使用するハードウェア・ソフトウェア・アルゴリズムの特徴やシステム構成図など
解決案の内容－評価方法・検証フロー	評価指標、開発したソフトウェア・プログラムを評価する手法やフローなど。（既存のベンチマークがある場合はベンチマーク）
検証結果と考察	検証の結果および考察（課題の背景や研究の目的に対する結果の解釈）
成果を踏まえた今後のビジョン	将来の技術的進歩の仮説を踏まえ、本成果が課題解決へ寄与するプロセス・ビジョン
成果のポイント	量子有用性、新規性・独自性、課題の解決貢献度、成果により期待される経済・社会インパクト、成果の他課題/他領域への展開・適用可能性を記載

デモ動画 撮影要領

開発した研究成果が動作していることがわかるデモ動画および研究内容の説明動画について、希望する方は作成のうえ、ご提出をお願いいたします。

項目	内容
内容	開発した研究成果（システム：アルゴリズム、アプリケーション）が正常に動作している状況が分かるデモ動画および研究内容の説明動画
時間	最大5分間
ファイル形式	MP4
ファイルサイズ	原則500MB以下
提出方法	ダウンロードURL（BOX等）を事務局へ提出 ※発行が難しい場合は事務局へ個別にご相談ください。
その他推奨事項	<ul style="list-style-type: none">・デモ動画内の説明内容を冒頭で掲載することを推奨・字幕記載を推奨・画質はフルHDを推奨・実際の操作画面録画を推奨・ナレーション音声は任意（英語音声の場合は日本語字幕を付けること）・機密データや非公開情報が映りこまないよう留意ください

ご質問の受付

本資料以外の詳細については、本事業専用Webサイトに記載の内容をご覧ください。

<https://qc-challenge.nedo.go.jp/>

よくあるご質問は上記HPのFAQに公開しておりますので、適宜ご参照ください。
(随時更新しております。)

【お問い合わせ】

ご質問事項は以下の事務局あてにメールにてご提出ください。

NEDO Challenge, Quantum Computing “Solve Social Issues !” 事務局
メール : qc-challenge@nedo-challenge.jp